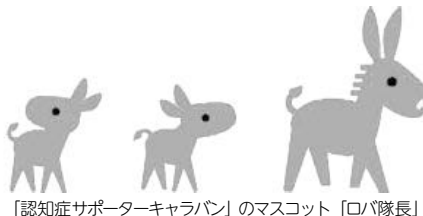


“認知症サポーター養成講座”受講者が増えています！
～めざそう！1万人受講～
(現在 9,397人)

認知症の方を見守り、地域で声をかけ、そっと手助けしていただける方を増やす取り組みです。出前講座を開催していますので、ご希望がありましたらご連絡ください。



「認知症サポーターキャラバン」のマスコット「ロバ隊長」

● **認知機能障害**
記憶障害：新しいことを記憶できな
きない、すぐに忘れてしまう。
見当識障害：現在の年月や時間、場所など状況がわからなくなる。
理解や判断力の低下：考えるスピードが遅くなる、いつもと違うことに対応できない、家電製品などがうまく使えなくなる。
実行機能障害：計画を立て段取りをして動くことができなくなる。

● **重要なこと**
薬の開発が進み早期に診断を受けて治療を開始することで、進行を遅らせることができ、適切な対応や今後の見通しを立てることが出来ます。それとともに、**地域の人たちの認知症についての正しい理解や、支援が必要不可欠**です。認知症になっても、暮らしやすい地域になるように、みんなが認知症のことを学習する機会を持つてみませんか？

認知症 みんなの笑顔で支えよう

団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）には、認知症の患者数は約700万人に達し、65歳以上の高齢者の約5人に一人が認知症であると推測されています。認知症は、病気が原因で記憶障害などがおこり、生活する上で支障が出てくる状態をいいます。

で妄想、徘徊、不安、うつ症状、暴言などがあります。



安全安心

交通事故発生状況

岡 高島警察署 (22)0110

(平成 29年 4月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	34件	+14件
死者数	1人	+1人
傷者数	49人	+19人

発生場所	件数
マキノ	7件
今津	8件
朽木	1件
安曇川	12件
高島	2件
新旭	4件

※概数

火災・救急・救助件数

岡 消防総務課 (22)5401

(平成 29年 4月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	4件	6件
車両	0件	1件
林野	0件	0件
その他	4件	5件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	20件	58件
一般負傷	28件	145件
急病	154件	702件
その他	19件	96件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	1件	6件
水難事故	0件	0件
その他	2件	5件

環境放射線測定結果

岡 原子力防災対策室 (25)8133

4月平均値(平日測定)	前月平均値
マキノ(マキノ支所前駐車場) 0.067 μ Sv/h	0.062 μ Sv/h
今津(今津支所玄関北側) 0.056 μ Sv/h	0.064 μ Sv/h
朽木(朽木支所前駐車場) 0.073 μ Sv/h	0.079 μ Sv/h
安曇川(安曇川支所裏駐車場) 0.067 μ Sv/h	0.063 μ Sv/h
高島(高島支所東駐車場) 0.054 μ Sv/h	0.058 μ Sv/h
新旭(市役所北側玄関前) 0.062 μ Sv/h	0.060 μ Sv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
※通常の値はおおむね0.2 μ Sv/h以下です。

毎年の検診が大切です

治りやすからが、症状が出てくると大腸がん

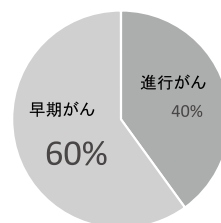
○死因で多い大腸がん
日本人の死因で、もっとも多い病気はがんです。その中でも大腸がんが死亡する人は男女ともに増えていて、大腸がんにかかる人も40歳から年を重ねるにつれて増えていきます。
市内の女性では、大腸がんで死亡する方が一番多い状況です。
※全がん死亡者の中

○見つけにくい大腸がん

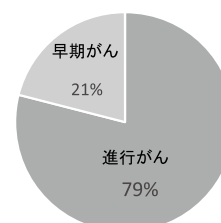
大腸がんが治りにくい病気なのかという点、そうではありません。早期の段階で治療を行えば、高い確率で治すことができます。
しかし大腸がんは症状が出にくいことで有名です。症状が出てから病院で見つかる場合、進行がんであることが多いです。
早期に発見するために、40歳以上の方は定期的に検診を受けましょう。



検診で見つかった大腸がん



病院で見つかった大腸がん



厚生労働省「大腸がん集団検診の組織化に関する研究」より



検診を受けると症状がでる前に早期の段階で見つけることが多いわね

Q ずっと痔だと思っていたら大腸がんと診断されました

A 早期の大腸がんではほとんど自覚症状はありませんが、血便が出る場合があります。出血以外に症状がない場合、痔だと思いつつ「大したことないだろう」と考えて病院へ行かず、発見が遅れてしまう場合もあります。出血を繰り返す場合には、早めに病院で診察してもらうことが大切です。

6月4日~10日は 歯と口の健康週間です



私たちの生活は食べることによって支えられています。食べるためになくてはならない器官が「歯」。しかし年齢を重ねるにしたがって、歯を失う人が多いのが現状です。歯を失う2大原因は？…それは「歯周病」と「むし歯」です。けれども、日頃から歯磨きなどの口腔ケアをしっかりおこなってれば、歯の寿命をもっと延ばすことも可能です。この週をきっかけに規則正しい食習慣、正しい歯磨き、フッ素を利用した口腔ケア、定期的な歯科検診に取り組み、歯を長生きさせましょう。

○検診を受けましょう

大腸がん検診は、2日間の便を採る方法で手軽に受けられます。容器は各支所や保健センター、市内医療機関でお渡しできます。詳細は「たかしま健康たより」をご覧ください。健康推進課へお問い合わせください。